

「地域活動に励んだ中学生」の交流会 中学生 27 人が意見交換！

次代の壬生町を担う中学生が集い、「地域活動から学んだこと」「やってみたい企画」等について熱く議論しました。

12月16日（日）壬生中央公民館和室において交流会を開催。様々な地域活動に取り組んだ中学生27人が、今年一年の活動を映像等でふりかえりながら、「これからの地域活動のあり方」について協議しました。



「中学生 27 名の“同窓会”」

今年一年、地域活動に励んだ中学生が再び集い“同窓会”のような雰囲気でした。



「映像で活動をふりかえる」

中学生の活躍の様子を記録した DVD 映像を全員で視聴。当時を懐かしみました。



「志を名刺にこめて（名刺交換）」

手作りの名刺を作成し、地域活動へ同じ「志」をもつ仲間と名刺交換をしました。



伝えたいことを「見える化」

交流会で仲間に伝えたいことを文字に置き換え、自分自身をみつめました。



「発表：活動して良かったこと」

頼られる喜び、必要とされる嬉しさ、人の役に立つ満足感などの声がありました。



「特製クリスマスケーキを食べながら」

“中学生のために”とケーキ屋さんが特別につくったケーキを食べながら意見交換しました



「“ありがとう”の言葉の魅力とは」

言われて嬉しかった言葉 NO.1「ありがとう」の魅力について、意見交換しました。



「メンバーチェンジしながら！」

途中、話し合うメンバーを変えながら（ワールド・カフェ形式）、交流を楽しみました。



「新たなつながりから地域参画へ」

二時間の交流会が終了。たくさんの名刺をもらい新たなつながりが数多く誕生しました。



「交流会（＝同窓会）終了後、全員で記念撮影。次年度、地域参画での再開を誓い合いました」

意見交換の主な内容

※壬生町子ども会育成会連絡協議会サポーター5名が意見交換を支援してくださいました。

【言われて嬉しかった“地域の大人の言葉”】

「とても助かったよ」「ありがとう」「来年も一緒にやろうね」「一生懸命できたね」「また来てね」「君のおかげだよ」「ごくろうさま！」「さすが中学生！」「中学生がいると、たのもしい！」

→ 地域の方々からの温かな励ましの声が、中学生を勇気づけ大いに励ましていたことがよくわかります。次代の壬生町を担う中学生が、自己有用感・自己肯定感を高められるよう、地域の皆様による温かなかわりあいを、今後とも宜しくお願いします。

【地域活動に励んで良かったこと】

「人の役に立てたこと」「活動が終わったときの達成感」「多くの笑顔が見られたこと」「大人の人に頼りにされること」「必要とされたこと（自己有用感）」「活動を通して友達が増えたこと」

→ 参加した中学生にとって、地域行事が「大切な居場所」となっていたことがよくわかります。中学生の社会参加を「ひとつづくり」の場として高めていくためにも、中学生が活躍できる機会を今後も提供してまいりますよう、宜しくお願いします。

【交流会に参加した感想】

- ・「ボランティア活動をすると、とてもいい気分になります。これからもたくさん参加して、壬生町民の方々との輪を広げていきたいと思えます。」（中1女子）
- ・「いろいろな人と交流して話ができて楽しかったです。またボランティア活動を続けていきたいです。人の笑顔があるから、僕はがんばれます。」（中1男子）

「遊学塾まつり」でも中・高生が活躍！（主催 睦地区コミュニティ推進協議会、遊学塾運営委員会 12月1日 睦地区コミュニティセンター）



「開会式の司会を高校生が担当しました」

小さいときから遊学塾の行事に参加していた高校生が、司会者を見事に務めました。



「来賓者・講演会講師の接待を中学生が担当しました」

多くの来賓者を温かく出迎え、心を込めてお茶等の接待をしました。若いチカラの活躍に、来場者から喜びの声があがりました。